

日本機械輸出組合は、わが国主要プラント・エンジニアリング輸出企業に対し、海外成約アンケート調査を実施し、この度本調査の概要を取りまとめましたので公表致します。

## 2011 年度海外プラント・エンジニアリング(PE)成約実績調査 ～成約金額は過去最高の実績、しかし海外企業との格差は縮小せず～

### 1. 2011 年度海外PE成約実績概況について

#### (1) 全体的概況(図 1、表 1 参照)

- ①2011 年度の海外成約総額は、274.9 億ドル(対前年度比 18.0%増)と過去最高の実績となり、これまでの最高であった 2005 年度成約実績(255.9 億ドル)を 6 年振りに更新した。
- ②本邦からの輸出額も、過去最高の実績(144.7 億ドル、対前年度比 11.7%増)となった。
- ③成約件数は、628 件(対前年度比▲13.3%)と前年度を下回る結果となった。

#### (2) 地域別概況(図 2、表 2 参照)

- ①成約額上位3地域は、アジア(116.4 億ドル、対前年度比 9.7%増)、大洋州(73.6 億ドル、対前年度比 164.6%増)、アフリカ(42.6 億ドル、対前年度比 230.2%増)となり、各市場とも過去最高の実績となった。
- ②2010 年度に初めて 100 億ドルを超えたアジア地域は、今年度も引き続き 100 億ドルを突破した
- ③昨年度 2 番目に成約額が大きかった、中東(10.5 億ドル)は各種プロジェクト発注が端境期にあること等もあり前年度比 78.8%の減少と、大幅に落ち込んだ。  
アジア地域の内訳を見ると、中国は 12.1億ドルで前年度比▲18.8%で、他方 ASEAN 五カ国向け実績は 47.5 億ドル(前年度比 9.7%増)となり、2009 年度以降、拡大傾向が続いている。

#### (3) 機種別概況(図 3、表 3 参照)

- ①機種別には、交通インフラ以外は、全機種で対前年度比増加した。
- ②成約額上位 3 機種は、発電プラント(103.5 億ドル、前年度比 61.0%増)、エネルギープラント(85.8 億ドル、対前年度比 8.8%増)、化学プラント(26.2 億ドル、前年度比 36.4%増)となった。  
上位 2 機種は 2011 年度上期ではともに前年同期比でマイナスであったが、下期に受注が集中し通期では共に前年を上回った。発電プラントの成約実績が 100 億ドルを超えたのは 2007 年度以来である。
- ③他方、2010 年度に大幅な増加を記録した交通インフラの成約実績は、今年度は一服状態で前年比 86.1%の減少となった。

### 2. 海外競合国との比較

#### (1) 全体的概況(図 6-1 参照)

2011 年度のわが国 PE 成約実績は過去最高を記録したが、海外競合国である韓国、中国、米国も受注を伸ば

し過去最高を記録した。この結果、日本企業と海外企業との格差は縮小せず、むしろ拡大した。韓国の受注実績は 2010 年比で 0.8%増にとどまるものの、2010 年の UAE 原発受注という特殊要因を除けば前年比大幅増となり、依然韓国の PE 輸出は好調を維持しているといえる。

(2)機種別概況(図 6-2、図 6-3 参照)

電力プラントでは、韓国の受注実績が前年度の大型案件の反動もあり前年比 47.4%減となったが、受注水準は依然として日本の受注実績を大きく上回っている。

他方、エネルギー・化学プラントでは、韓国の受注実績は微増にとどまったことから、日本の受注実績との差はわずかではあるが縮まった。

( 参 考 )

(1)大型案件の状況(表 4 参照)

①2011 年度の大型案件は 40 件、220.6 億ドルとなった。11 年度上期はやや低調(大型案件は 12 件)であったが、下期に持ち直し、通期の件数は 2006 年の 42 件に次ぐ過去 2 番目の件数、金額ベースでは過去最高の実績となった。

②大型案件の成約総額に占める割合は、2005 年度以外では平均すると 6 割台の後半で推移していたが、2009 年度および 2010 年度は約 75%を占めるに至った。さらに、2011 年の大型案件の成約総額に占める割合は 80.2%となり、初めて 8 割を上回った。大型案件の成約実績に与える重要性がより高まっているといえる。

(2)成約実績上位10カ国

①成約上位 3 カ国は、オーストラリア、台湾、エジプトである。

②過去3年間上位10カ国に入っている国は、インドネシアと中国のみである。

③上位10カ国が全成約額に占める割合は増加し、全体の 79.4%を占めている。

以上

( 図 表 編 )

## 1. 成約実績全体の推移

図 1. PE 成約実績(全体)の推移

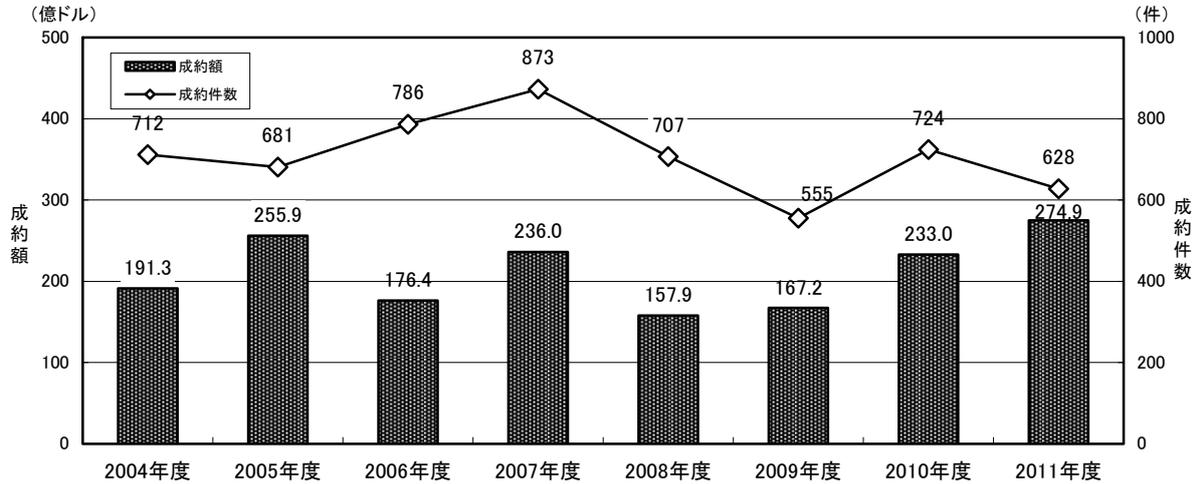


表 1. PE 成約実績 (全体) の推移

	件数(件)		成約額(億ドル)		海外調達状況		
		対前年度比(%)		対前年度比(%)	本邦輸出額(億ドル)	海外調達額(億ドル)	海外調達比率(%)
2000 年度	483	14.5%	152.6	92.4%	96.3	56.3	36.9%
2001 年度	404	▲ 16.4%	122.7	▲ 19.6%	71.7	51.0	41.6%
2002 年度	616	52.5%	137.6	12.1%	69.7	67.9	49.4%
2003 年度	690	12.0%	186.6	35.7%	101.2	85.5	45.8%
2004 年度	712	3.2%	191.3	2.5%	103.8	87.5	45.7%
2005 年度	681	▲ 4.4%	255.9	33.8%	125.3	130.6	51.0%
2006 年度	786	15.4%	176.4	▲ 31.1%	124.2	52.2	29.6%
2007 年度	873	11.1%	236.0	33.7%	143.7	92.3	39.1%
2008 年度	707	▲ 19.0%	157.9	▲ 33.1%	108.9	49.0	31.0%
2009 年度	555	▲ 21.5%	167.2	5.9%	99.5	67.7	40.5%
2010 年度	724	30.5%	233.0	39.4%	129.5	103.5	44.4%
2011 年度	628	▲ 13.3%	274.9	18.0%	144.7	130.2	47.4%

(注1) 上表の数値については、2008 年度上期調査から実施された調査対象金額の変更に合わせて成約額 100 万ドル以上の案件を対象に再集計し、また、2008 年度上期の実績に関して訂正があったものについては、当該訂正に合わせて 2008 年度の数値を再集計している。従って、本表の数値と過去の報告書の掲載結果とは一致しない。

(注2) 成約額、本邦輸出分、海外調達分との関係は次の通りである。成約額 = 本邦輸出額 + 海外調達額

(注3) 四捨五入の関係で合計が合わない箇所がある。

## 2. 地域別実績の推移

図2. 地域別実績の推移

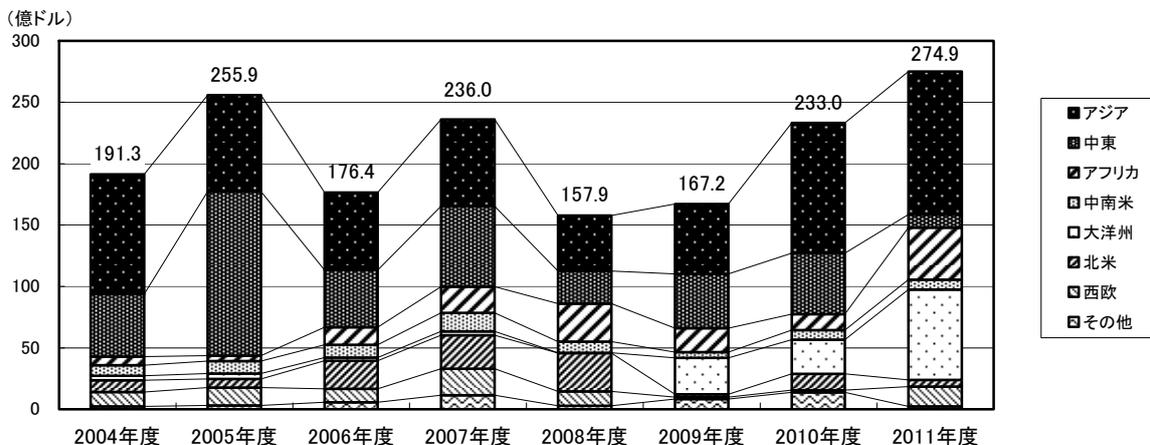


表2. 地域別実績の推移

		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
全体		191.3 ( 2.5%)	255.9 ( 33.8%)	176.4 (▲31.1%)	236 ( 33.8%)	157.9 (▲33.1%)	167.2 ( 5.9%)	233.0 ( 39.4%)	274.9 ( 18.0%)
地域別	アジア	97.4 ( 30.4%)	78.6 (▲19.3%)	63.0 (▲19.8%)	70.7 ( 12.2%)	45.4 (▲35.8%)	57.1 ( 25.8%)	106.1 ( 85.8%)	116.4 ( 9.7%)
	中華人民共和国	33.3 ( 89.2%)	12.2 (▲63.4%)	12.4 ( 1.6%)	10.5 (▲15.3%)	13.3 ( 26.7%)	9.4 (▲29.3%)	14.9 ( 58.5%)	12.1 (▲18.8%)
	ASEAN5	42.3 ( 1.7%)	29.2 (▲31.0%)	18.4 (▲37.0%)	21.6 ( 17.4%)	17.0 (▲21.3%)	23.9 ( 40.6%)	43.3 ( 81.2%)	47.5 ( 9.7%)
	中東	51.0 (▲16.5%)	133.5 ( 161.8%)	46.6 (▲65.1%)	65.3 ( 40.1%)	26.4 (▲59.6%)	44.0 ( 66.7%)	49.5 ( 12.5%)	10.5 (▲78.8%)
	アフリカ	7.0 ( 100.0%)	4.4 (▲37.1%)	14.4 ( 227.3%)	21.5 ( 49.3%)	31.1 ( 44.7%)	19.5 (▲37.3%)	12.9 (▲33.8%)	42.6 ( 230.2%)
	中南米	8.7 ( 31.8%)	10.3 ( 18.4%)	10.2 (▲1.0%)	15.1 ( 48.0%)	9.0 (▲40.4%)	4.7 (▲47.8%)	7.9 ( 68.1%)	7.8 (▲0.9%)
	大洋州	3.4 ( 325.0%)	4.4 ( 29.4%)	2.6 (▲40.9%)	2.9 ( 11.5%)	0.4 (▲86.2%)	29.7 ( 7,325.0%)	27.8 (▲6.4%)	73.6 ( 164.6%)
	北米	9.7 ( 51.6%)	7.1 (▲26.8%)	22.8 ( 221.1%)	27.5 ( 20.6%)	31.2 ( 13.5%)	2.3 (▲92.6%)	13.3 ( 478.3%)	5.5 (▲58.3%)
	西欧	11.6 ( 75.8%)	14.5 ( 25.0%)	11.1 (▲23.4%)	21.6 ( 94.6%)	11.7 (▲45.8%)	1.6 (▲86.3%)	1.8 ( 12.5%)	16.1 ( 795.6%)
	その他	2.5 (▲90.7%)	3.2 ( 28.0%)	5.7 ( 78.1%)	11.4 ( 100.0%)	2.8 (▲75.4%)	8.3 ( 196.4%)	13.8 ( 66.3%)	2.4 (▲82.8%)

(注) 単位：億ドル

(注) 各地域の2段目の値は前年度比(%)

(注) ASEAN5：インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア

### 3. 機種別実績の推移

図3. 機種別実績の推移

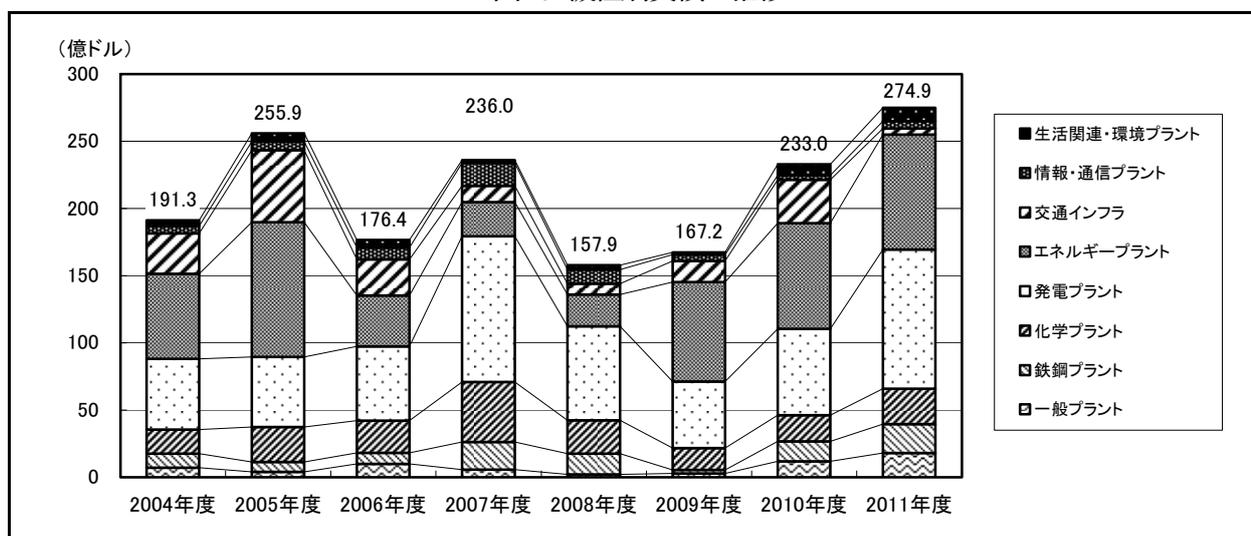


表3. 機種別実績の推移

単位：億ドル

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
全体	191.3 ( 2.5%)	255.9 ( 33.8%)	176.4 (▲31.1%)	236.0 ( 33.7%)	157.9 (▲33.1%)	167.2 ( 5.9%)	233.0 ( 39.3%)	274.9 ( 18.0%)
生活関連・環境プラント	4.3 (▲28.3%)	6.1 ( 41.9%)	5.5 (▲9.8%)	2.0 (▲63.6%)	3.3 ( 65.0%)	1.7 (▲48.5%)	8.3 ( 388.2%)	10.1 ( 22.3%)
情報・通信プラント	5.6 ( 16.7%)	6.4 ( 14.3%)	8.9 ( 39.1%)	17.0 ( 91.0%)	10.5 (▲38.2%)	4.7 (▲55.2%)	3.3 (▲29.8%)	5.3 ( 59.8%)
交通インフラ	29.9 ( 115.1%)	53.6 ( 79.3%)	26.7 (▲50.2%)	12.2 (▲54.3%)	8.1 (▲33.6%)	15.6 ( 92.6%)	32.3 ( 107.1%)	4.5 (▲86.1%)
エネルギープラント	63.3 (▲3.5%)	100.1 ( 58.1%)	38.0 (▲62.0%)	25.3 (▲33.4%)	23.6 (▲6.7%)	74.0 ( 213.6%)	78.8 ( 6.5%)	85.8 ( 8.8%)
発電プラント	52.7 (▲18.2%)	52.2 (▲0.9%)	55.2 ( 5.7%)	108.6 ( 96.7%)	70.0 (▲35.5%)	49.5 (▲29.3%)	64.3 ( 29.9%)	103.5 ( 61.0%)
化学プラント	18 ( 25.9%)	26.0 ( 44.4%)	23.9 (▲8.1%)	44.4 ( 85.8%)	24.7 (▲44.4%)	16.2 (▲34.4%)	19.2 ( 18.5%)	26.2 ( 36.4%)
鉄鋼プラント	10.5 ( 9.4%)	7.4 (▲29.5%)	8.4 ( 13.5%)	20.6 ( 145.2%)	15.6 (▲24.3%)	2.7 (▲82.7%)	15.1 ( 459.3%)	21.6 ( 43.6%)
一般プラント	7.1 (▲10.1%)	4.0 (▲43.7%)	9.9 ( 147.5%)	5.8 (▲41.4%)	2.1 (▲63.8%)	2.8 ( 33.3%)	11.8 ( 321.4%)	18.0 ( 52.3%)

(注) 2段目の値は前年度比伸び率

(参考 1) 大型案件(1億ドル超案件)の状況

表4 大型案件の状況

	2010年度	2011年度
①件数	36件	40件(11.1%増)
全件数に占めるシェア	5.2%	6.8%
②金額	175.3億ドル	220.6億ドル(25.8%増)
総額に占めるシェア	75.2%	80.2%

(注)超大型案件:10億ドル超の成約案件, 大型案件:1~10億ドルの成約案件

(参考 2) 成約実績上位10カ国

表5. 成約実績上位10カ国の推移

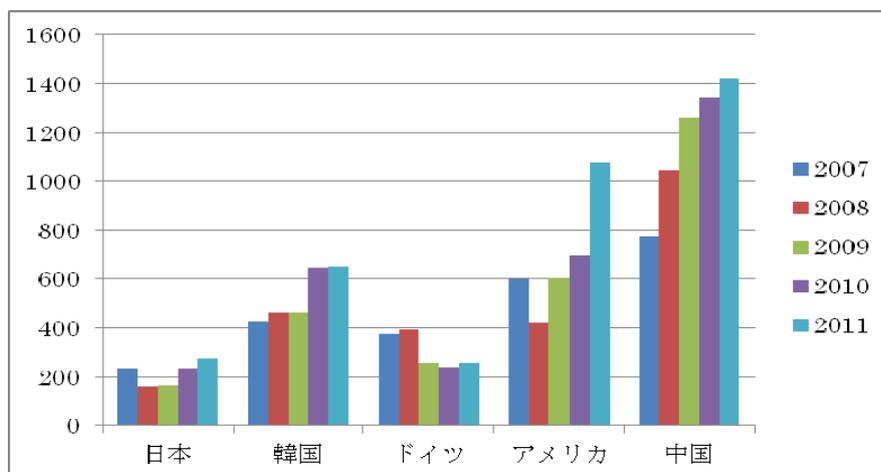
単位:億ドル

	2009年度			2010年度			2011年度		
	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合	国名	成約額	割合
1	アラブ首長国連邦	30.4	18.2%	カタール	30.3	13.0%	オーストラリア	73.1	26.6%
2	バプアニューギニア	22.1	13.2%	バプアニューギニア	23.4	10.0%	台湾	24.6	9.0%
3	インドネシア	16.8	10.1%	インドネシア	20.9	9.0%	エジプト	24.3	8.8%
4	アルジェリア	15.4	9.2%	中華人民共和国	14.9	6.4%	大韓民国	22.7	8.3%
5	インド	10.3	6.2%	台湾	14.0	6.0%	タイ	17.6	6.4%
6	中華人民共和国	9.4	5.6%	アメリカ合衆国	13.1	5.6%	トルコ	12.9	4.7%
7	オーストラリア	7.5	4.5%	ロシア	11.5	4.9%	マレーシア	12.5	4.6%
8	トルクメニスタン	6.1	3.6%	タイ	10.7	4.6%	中華人民共和国	12.1	4.4%
9	シンガポール	5.5	3.3%	アラブ首長国連邦	10.7	4.6%	インドネシア	9.2	3.3%
10	サウジアラビア	5.3	3.2%	ベトナム	10.5	4.5%	アンゴラ	9.1	3.3%
	上位10カ国計	128.8	77.0%	上位10カ国計	160.0	68.7%	上位10カ国計	218.2	79.4%

### 3. 海外主要国とのPE輸出競争状況

図6-1 主要国の海外PE受注実績(2007~2011年)

単位：億ドル



米国:ENR Top 400 Contractors の International New Contract のデータ (注)土木・建設が多い。機種別詳細は不明。

ドイツ:VDMA プラント・エンジニアリング統計、海外受注より

07年:Euro=1.4\$ 08年:Euro=1.5\$ 09年:Euro=1.4\$ 10年:Euro=1.37\$ 11年:Euro=1.39\$で計算

韓国:知識経済部、海外プラント受注統計より

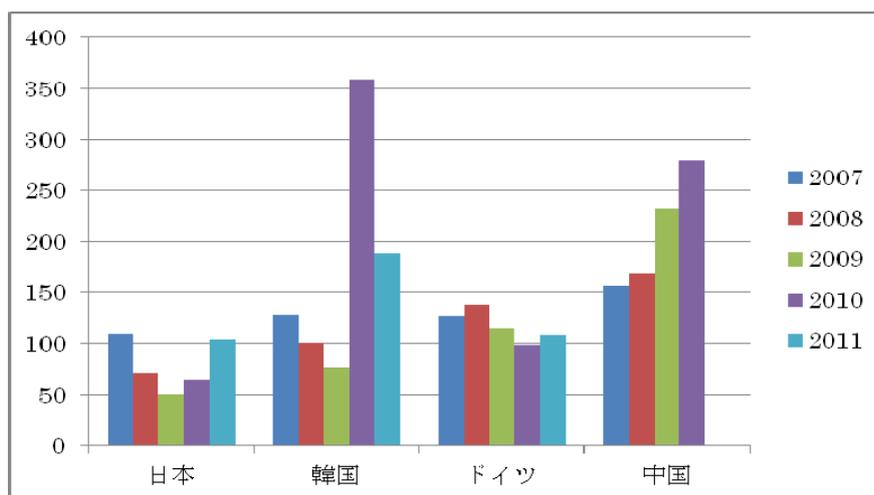
中国:商務部、対外承包工程統計、新規受注高より (注)土木・建築が比較的多い

日本:海外プラント・エンジニアリング成約実績 (注)日本のみ年度ベース

(注)各国の機種範囲が異なるので、単純な比較はできない。

図6-2 主要国の電力プラント輸出推移

単位：億ドル

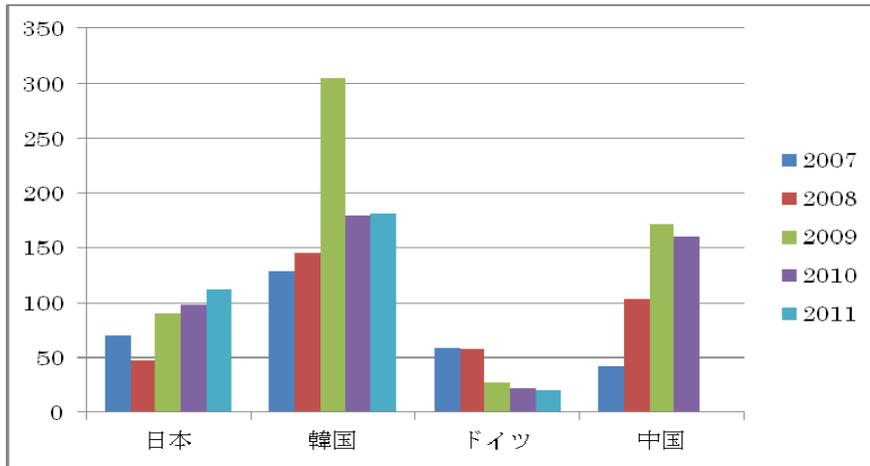


出所：同上

注：日本-発電プラント、ドイツ-電力プラント、韓国-発電・淡水プラント、中国-電力プラント (2011年データは未入手)

図6-3. 主要国のエネルギー・化学プラント輸出推移

単位：億ドル



出所:同上

注:日本-エネルギープラントと化学プラントの合計

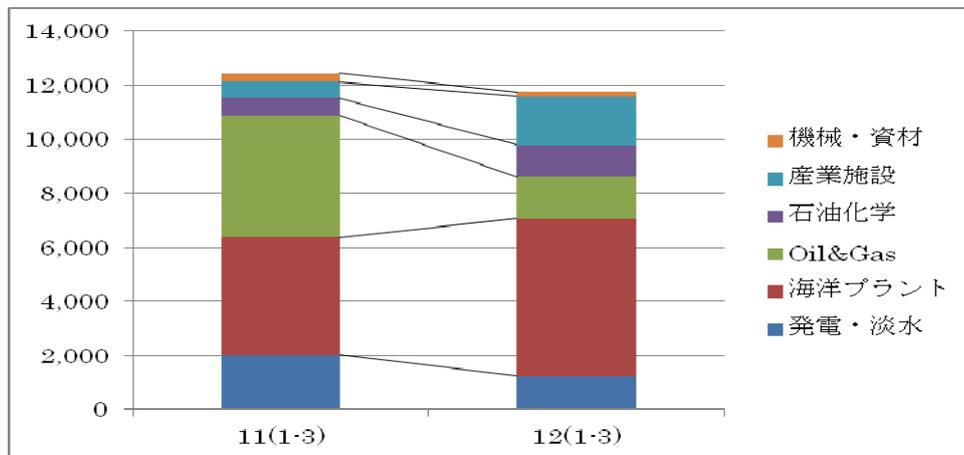
ドイツ- 化学プラントおよび空気・ガス液化設備の合計

韓国:石油化学プラントおよびオイル&ガスプラントの合計

中国:石油化学プラント(2011年データは未入手)

#### 4. 韓国の2012年第一四半期PE海外受注実績(参考)

- ①2012年第一四半期の韓国のPE海外受注実績は、118億ドルを記録した。しかし、2011年第一四半期の124億ドルと比較すると5.6%の減少である。
- ②受注額が伸び悩んだ原因は、中東で計画されていたプロジェクトの一部が発注延期となり、大型プロジェクトの受注が減少したため(5億ドル以上の大型プロジェクトの受注件数は2011年第一四半期は11件。対して2012年第一四半期は7件)。
- ③大型の石油化学案件などの発注予定が多数存在するため、本格的な受注は第二四半期以降になると知識経済部は見込んでいる。



韓国知識経済部、海外プラント受注統計より。 単位:100万ドル

以上